

科目ナンバー	SFR-2-004-ky			科目名	フランス語Ⅳ		
教員名	西川 正也			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	1
概要	「フランス語1～3」で学んだ文法事項をさらに確実に身につけるとともに、映画や音楽、文学作品などの生きたフランス語に接する機会を増やす。						
到達目標	これまでに学んだフランス語の知識を確かなものにすると同時に、旅行等で用いられるフランス語の会話表現を学ぶ。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	教科書による文法事項の学習と並行する形で、映像資料等を参考にしながら旅行や自己紹介で用いられる会話の練習を進めていく。＜＜アクティブラーニング＞＞発音および会話表現の、口頭・反復練習						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修			
受講条件 前提科目	重要:「フランス語3」単位取得者を対象とする。(「フランス語3」単位未取得者の履修は認めないので、注意すること。) *受講希望者が多数の場合には抽選等による履修制限を行なう場合があるので、受講を希望する学生は必ず第一回目の授業(シラバス授業)に出席すること。						
アセスメントポリシー及び評価方法	成績は、授業内容に関する知識習得度を学期末の試験(80%)で判断するほか、通常授業への参加度(20%)等を総合して評価する。						
教材	「Le ballon rouge(新・赤い風船)」大津・藤井著 朝日出版社 ISBN:9784255352275 1890円						
参考図書	必要な資料は授業時に配布する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	履修者の決定、これまでの復習						
授業外学修内容	前期学修事項の復習					時間数	1
2週目							
授業学修内容	人称代名詞						
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習					時間数	0.5
3週目							
授業学修内容	人称代名詞(つづき)						
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習					時間数	0.5
4週目							
授業学修内容	人称代名詞の強勢形						
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習					時間数	0.5
5週目							
授業学修内容	家族の表現						
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習					時間数	0.5
6週目							
授業学修内容	代名動詞						
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習					時間数	0.5

7週目			
授業学修内容	代名動詞(つづき)		
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習	時間数	0.5
8週目			
授業学修内容	複合過去形(1)		
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習donner複合過去形を覚える	時間数	1
9週目			
授業学修内容	複合過去形(1) (つづき)		
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	複合過去形(2)		
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習aller複合過去形を覚える	時間数	1
11週目			
授業学修内容	複合過去形(2) (つづき)		
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習	時間数	0.5
12週目			
授業学修内容	比較級		
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習	時間数	0.5
13週目			
授業学修内容	最上級		
授業外学修内容	教科書該当範囲の復習	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	旅行会話表現		
授業外学修内容	旅行会話表現を覚える	時間数	1
15週目			
授業学修内容	復習とまとめ		
授業外学修内容	後期学修範囲の復習	時間数	3
上記の授業外学修時間の合計		12	
その他に必要な自習時間		33	

Number	SFR-2-004-ky	Subject	French IV		
Name	西川 正也 (Nishikawa Masaya)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	1
Course outline	We will continue establishing the grammar we learned in "French I" to "French III", and we will also increase our opportunities to come in contact with living French, such as movies, music, and literary works.				